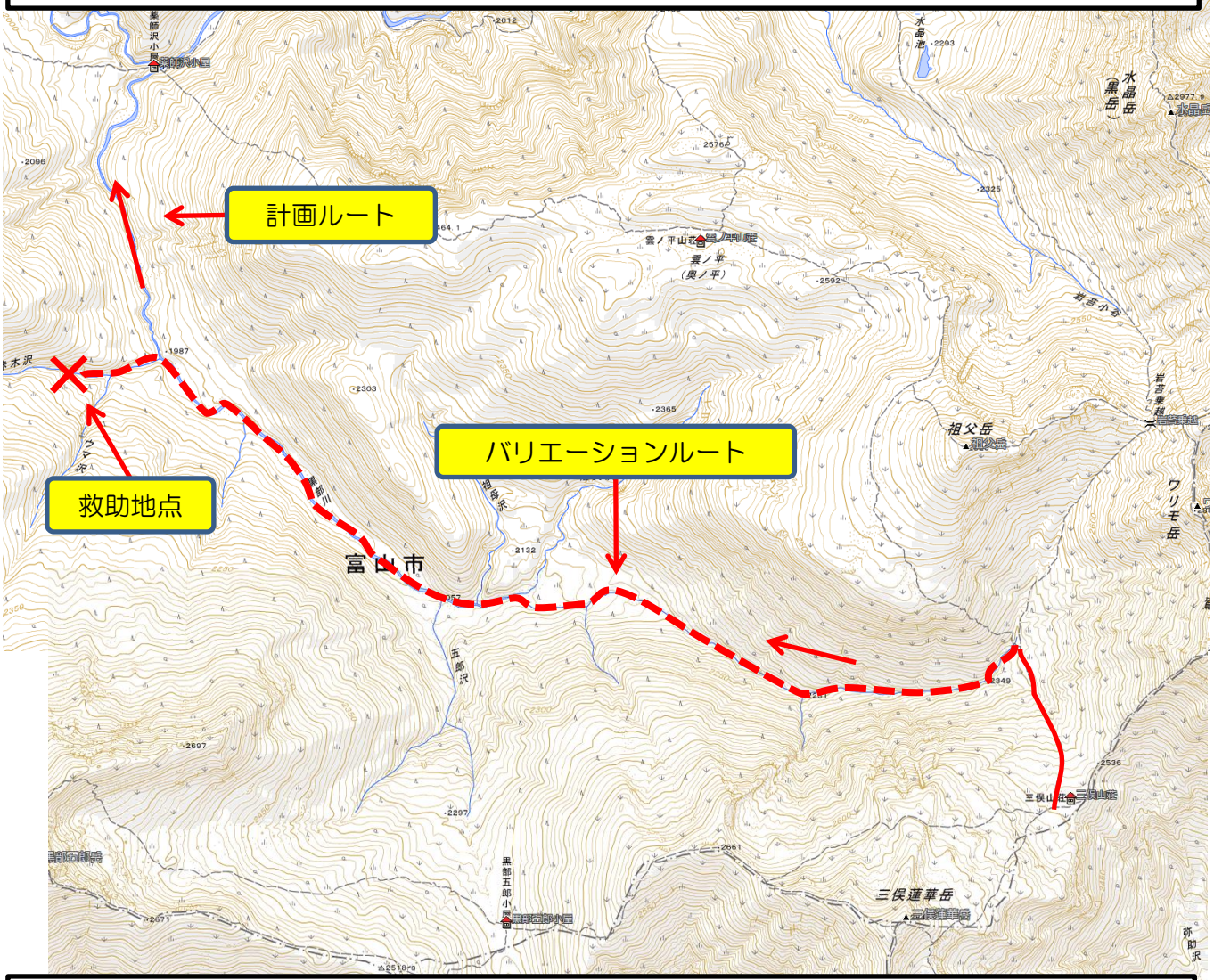
黒部川遭難（年不明9月）

60代男性で登山歴40年以上。下山予定日を過ぎても帰宅しないので家族が警察に通報。家族に登山計画を詳しく説明していたため、捜索開始から2日後に救助された。



解説

９月中旬、黒部源流を下るバリエーションルートを経由し、薬師沢小屋を目指す計画を立てた。下山予定日を過ぎても帰宅しないので家族が警察に通報。警察が上空からヘリで捜索をおこなったところ、捜索開始から2日後に救助された。

救助された場所は携帯電話の電波が届かない場所だったため、救助要請が難しかった。提出されていた登山届のほか、家族に登山計画を詳しく説明していたことから。足取りを推測しやすく捜索個所を絞れた。また、手持ちの装備で2日間のビバークに耐えられたことが大きかった。

バリエーションルート、すなわち「道のないルート」。道迷いの確率も当然増加する。上流から下流に向けて進むのだから、道迷いの確率は少なくなると思うのだが、道迷いは、それを許さない。念には念を入れた行動を取りたい。この事例は、事前に登山届の詳しい説明や食料の充実がよかった。